

政策シート 政策名 10 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

予算費目名 01 中央卸売市場事業特別会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

- ・市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。
- ・卸売市場法改正や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本構想を策定する。

(3) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑩ 生産・消費						
------	---------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	685,028	592,391	537,861			
決算	662,071	592,391				
人件費(報酬等)(A)	367	357	153			
人件費(人工分)(B)	73,600	74,400	76,400			
年間経費(予算又は決算+A+B)	736,038	667,148	614,414			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する		目標	策定	策定				見直し
		実績	内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の改正		目標	改正					
		実績	改正					
市場の再整備		目標		課題整理	基本構想	基本計画	民活導入	民活導入
		実績		あり方検討				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- ・市場の中長期的な経営の基本計画として中央卸売市場経営戦略の策定について開設運営協議会と協議を進めた。
- ・老朽化が著しい市場施設・設備の再整備について、市場関係者の意向把握に努めるため市場関係者と市で組織する「浜松市中央卸売市場あり方研究会」を設置し、市場再整備に向けた市場のあり方検討を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況においても安全で安心な生鮮食品等を市民に安定供給する使命を果たすことができた。 ・中央卸売市場経営戦略策定のため開設運営協議会を開催するとともに、協議会委員の意見をいただき「中央卸売市場経営戦略」を策定した。 ・「浜松市中央卸売市場あり方研究会」及びその作業部会を通じて、市場関係者の意向把握、課題整理ができたことで次年度の政策に繋げた。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	中央卸売市場事業	—	—	○		604,522	529,369	6.8	3.0	1.0	5.0	153
2	中央卸売市場デジタル運営経費					9,892	8,492	0.2				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						614,414	537,861	7.0	3.0	1.0	5.0	153

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	10	01	001731000	01	中央卸売市場	鈴木 克幸	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 中央卸売市場事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。
 ・卸売市場法改正や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本構想を策定する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H27	-	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓	⑩生産・消費							
事業とゴールの関連性	・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	685,028	592,391	529,369			
	決算	662,071	592,391				
	国・県支出						
	市債						
	その他	255,161	235,530	162,730			
	一般財源	406,910	356,861	366,639			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	367	357	153			
	人件費(人工分)(B)	73,600	74,400	75,000			
人工	正規	7.0	7.0	6.8			
	再任用(h31)	3.0	4.0	3.0			
	再任用(h26)	1.0	1.0	1.0			
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0	3.0	5.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		736,038	667,148	604,522			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
市場経営展望を経営戦略へ統合し 策定する			目標	経営戦略策定	経営戦略策定				見直し
			実績	内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の 改正			目標	条例改正					
			実績	改正					
市場の再整備			目標		課題整理	基本構想	基本計画	民活導入	民活導入
			実績		あり方検討				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 02 10 01 001731000 01 中央卸売市場 鈴木 克幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を進めた。
- ・市場の中長期的な経営の基本計画策定のため、開設運営協議会を2回開催し協議会委員の意見をいただき策定を行った。
- ・市場再整備に向けた市場関係者との調整機能として、浜松市中央卸売市場あり方研究会及びその下部組織として作業部会を設置し、意見交換の場を盛り込んだ。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理・保守により市場の円滑な管理運営を行った。
- ・中央卸売市場経営戦略を策定し、議会報告を行った。
- ・中央卸売市場あり方研究会を4回、作業部会を2回、勉強会を1回開催し、その他市場再整備に向けたアンケート調査及び各団体ごとのヒアリングを行い、再整備に対する意向把握を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症等に対応できる市場販売、取引のしくみを検討する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。
- ・市場運営の効率化や施設の再整備について課題整理を含め市場関係者へのヒアリング、アンケートの実施による意向把握を実施した。
- ・全国中央卸売市場協会と連携を図り、新型コロナウイルス感染症拡大に係る情報収集に努めた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進める。
- ・前年度実施した市場再整備のあり方検討について市場関係者の意向把握を基に再整備基本構想を策定する。
- ・全国中央卸売市場協会と連携を図り、情報収集に努める。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・引き続き生鮮食料品等の流通拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。
- ・前年度実施した市場関係者への意向把握や他市場の動向調査及び民間事業者への市場調査(サウンディング調査)における提案等を踏まえ、再整備基本構想を策定する。

事業シート (事業名) 02 中央卸売市場デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			8,492			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			8,492			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			1,400			
人工	正規			0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				9,892			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 02 10 01 001731000 02 中央卸売市場 鈴木 克幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

政策シート 政策名 10 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

予算費目名 02 と畜場・市場事業特別会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

(3) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	339,746	348,700	327,000			
決算	317,342	331,451				
人件費(報酬等)(A)	304	21	21			
人件費(人工分)(B)	42,200	38,000	37,200			
年間経費(予算又は決算+A+B)	359,846	369,472	364,221			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市場取扱高(千円)	千円	目標	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5,000,000
		実績	5173075	5454458				
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現した。

課題
生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	と畜場・市場事業	—	○			364,221	327,000	4.0	1.0		2.0	21
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						364,221	327,000	4.0	1.0		2.0	21

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 と畜場・市場事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S28	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓								
事業とゴールの関連性	市場による公平・公正な食肉の価格形成を確保することにより、継続的に安定した食料を供給する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	339,746	348,700	327,000			
	決算	317,342	331,451				
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,088	4,565	5,073			
	一般財源	152,563	159,792	158,383			
	一般会計繰入金	159,691	167,094	163,544			
人件費(報酬等)(A)	304	21	21				
人件費(人工分)(B)	42,200	38,000	37,200				
人工	正規	5.0	4.0	4.0			
	再任用(h31)	2.0	2.0	1.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.0	2.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		359,846	369,472	364,221			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
市場取扱高(千円)			目標	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000
			実績	5173075	5454458				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	10	03	001735000	01	食肉地方卸売市場	加藤 信明	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

総務費
 【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。
 【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。
 【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。
 【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。
 公債費 設備投資による借り入れの返済
 予備費



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題
 指標の達成度
 総務費
 【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。
 【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。
 【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。
 【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。
 課題
 生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 事業全体の人工を見直し、施設管理業務に関する事務を正規職員(1人工)から会計年度任用職員(1人工)にした。
 日常の設備点検と老朽化対策修繕を実施したため、操業に影響する障害が発生することなくと畜場及び市場業務を運営することができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 事業全体の人工を見直し、施設管理業務に関する事務を再任用職員(1人工)から会計年度任用職員(1人工)にした。
 施設設備の保守を継続して行っていく。より安全・安心な食肉の供給拠点としてその機能を果たすべく、老朽化対策工事を進めていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

総務費
 【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。
 【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。
 【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。
 【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。
 【新食肉センター再編整備事業に対する負担金】本市食肉地方卸売市場と小笠食肉センターを県が事業実施主体となり小笠において再編・整備する事業を支援し、食肉の安定供給と畜産振興を図る。
 公債費 設備投資による借り入れの返済
 予備費